

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	3161	(H.28)No.	3161
-----------	------	-----------	------

事務事業名	県単有害鳥獣捕獲緊急対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	340513
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	林業振興対策費	
項 林業費	(小事業名)	
目 林業振興費	県単有害鳥獣捕獲緊急対策事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	1	農林資源
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
近年、野生鳥獣による農林産物被害が中山間地域だけではなく市街地周辺においても日常的に発生し深刻な問題となっているため、有害獣捕獲・駆除を推進することで、農林産物の被害軽減を図る。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<p>有害獣の捕獲・駆除を補助し、名張市猟友会に補助金を交付することで、有害獣の捕獲・駆除を推進して個体数の削減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同捕獲推進事業委託 3,000千円</li> <li>・有害鳥獣被害防止事業補助金 1,100千円</li> </ul>	<p>(No.1107)鳥獣害防止事業に統合</p>

事業内容
有害獣の捕獲・駆除を補助し、名張市猟友会に補助金を交付することで、有害獣の捕獲・駆除を推進して個体数の削減を図る。

	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		4,100千円		0千円	0千円	0千円	
内訳(千円)	国・県支出金	1,934		0	0	0	
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	2,166	0	0	0	0
人工数	職員		0.09人		0.16人	0.00人	0.00人
	臨時職員等		0.00人		0.00人		
②概算人件費	0千円	675千円	0千円	1,200千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	4,775千円	0千円	1,200千円	0千円	0千円	0千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
有害獣の捕獲・駆除を実施し、個体数の調整を推進することができた。有害鳥獣の駆除によって、農業を取り巻く環境の改善に貢献した。有害鳥獣の駆除に向け、地元住民等と連携して効果的な事業につなげている。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等) 三重県の事業見直しにより平成29年度から補助内容が変更され、補助対象となる事業主体が「市又は獣害対策協議会」から「獣害対策協議会のみ」になった。しかし、有害鳥獣の個体数は増加の一途をたどっており、市民からのニーズも高いことから、引き続き捕獲による個体数調整の実施を推進していく必要がある。そのため、事業実施主体を奈良県宇陀市と運営している「宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会」とし、事業を引き続き実施するため、鳥獣害防止事業に統合する。

統合検討
6. 事務事業の取組に関する市の計画 名張市鳥獣被害防止計画